# 生活単元学習指導案

**１　単元名**　「交流会を成功させよう」

**２　単元の目標**

・　さつまいもの収穫祭を小学生や地域の方とともに行うことを通して，相手や場面に応じた適切なかかわり方を身に付ける。

・　小学校の先生と一緒に事前打ち合わせ会を行うことを通して，よい打ち合わせのために必要なこと（・質問事項をまとめておく　・メモをとる　・場に応じた礼儀作法 ）を身に付ける。

・　小学生と調理をしたり，一緒に遊んだりすることを通して，先輩としての自覚をもつ。

３　単元と指導の構想

本単元では，小学校との「交流会」を題材とする。今年度の研究主題にあるように，自立に向けた確かな力（自信をもって社会参加できる確かな力を培っていくためには，教科の授業だけではなく，多種多様な取り組みが複合的に効果を発揮することが必要である。本単元で題材とする「交流会」は小学生，小学校の先生，地域の方々と一緒に行う行事であるため，様々な立場の人とかかわる必然性が生まれる。そして，その会を計画，実行するためには，立場や状況，年齢の異なる人との接し方，時と場に応じたふるまい方，電話のかけ方，ファックスの送り方，礼状の書き方などの今後の生活に必要なスキルを身に付けていくことが必要である。また，会を成功させるためには，自分達が楽しむだけではなく，他者の気持ちに配慮しなければならない。したがって本単元で「交流会」を題材として学習していくことは，自立に向けた確かな力を培っていくことにつながると考える。

**４　本時の計画**（本時　2/8　）

**(1)　本時のねらい**

打ち合わせ会のリハーサルを行い，そのよさや問題点をあげることを通して，よい打ち合わせにするために必要なこと（・質問事項をまとめておく・メモをとる・場に応じた礼儀作法など）に気付き，それらをもとに打ち合わせ会の台本を作成できる。

(2)　本時の計画

| 学習活動 | 教師の働きかけと予想される生徒の反応 | ■評価・〇留意点 |
|---|---|---|
| 導入(15 分)<br>１　学習課題の設定 | T「明日，小学校の先生と一緒に交流会の打ち合わせ会をします。打ち合わせ会の練習をしてみましょう」<br>（教師と生徒３人で練習。生徒３人は観察役）<br>T「練習よりもよい打ち合わせ会にするためには，どんな準備をしたり，どんなことに気を付けたりしたらよいのだろうか」　（下線部を学習課題として提示） | 〇当事者では気付かない部分にも着目できるように観察する係をおく。 |
| 展開（30 分）<br>２　改善策の検討<br><br><br><br><br>３　まとめ | S「誰が何をするか決めておく」「聞いたことをメモしておく」「聞きたいことをまとめておく」「自己紹介をする」<br>T「みんなが気付いたことを生かして，打ち合わせ会の進行表を作りましょう」<br>＜作成した進行表をもとに練習＞<br>T「最初の練習と比べてどうだった」<br>S 「よくできた」<br>T「今日のまとめをします。よい打ち合わせにするためには，みんなが考えてくれたような準備をするとよいということがわかりました。」（まとめのプレートを貼る） | ■適切な言葉遣いと態度で自分の役割を果たしていたか。<br>■必要なことをメモしながら聞いていたか。<br>〇生徒から出てきた言葉をそのままとめにする。 |
| 終末(5 分)<br>４ ふりかえり | T「明日の打ち合わせ会は成功しそうですか」<br>S「大丈夫だと思います」 | |

**（３）　本時の評価**

自分達で作成した進行表をもとに，適切な言葉遣いと態度で質問することができたか。